

公認プログラム



読響 東京2020パラリンピック 応援コンサート

アスリートたちの熱いトークと
重厚なオーケストラを楽しもう!

日時 2019年3月31日(日)14:00開演
(13:30開場・15:30終演予定)

会場 文京シビックホール 大ホール

文京区春日1-16-21[東京メトロ「後楽園駅」都営地下鉄「春日駅」直結]

料金 無料 ◆全席指定。事前のお申し込みが必要です。
◆当日は多くの方がご来場されるため、
介助が必要な方はご同伴の方とのご来場をお願いします。
◆発券手数料(108円／1枚)およびシステム利用料(216円／1枚)が必要です。
◆チケットのお引き取りはセブンイレブンかファミリーマート店舗で、
手数料・利用料のお支払いはクレジットカードに限らせていただきます。予めご了承ください。
◆枚数制限4枚まで。

第1部 (約20分)

みんなで 応援トークコーナー

ゲスト



別所 キミエ 木村 敬一
(車いす卓球選手) (パラ水泳選手)

◆都合により曲目、出演者等が一部変更になる可能性がございます。◆会場の出入りは自由です。
また、コンサート中に声が出ても、体が動いても構いません。どうぞリラックスして音楽をお楽しみください。

声が出ても
体が動いても
大丈夫!



司会 鈴木 健
(日本テレビアナウンサー)

第2部 (約60分)

応援コンサート

競技
映像付

指揮=現田 茂夫



ジョン・ウィリアムズ／
オリンピック・ファンファーレ

ワグナー／
楽劇〈ニュルンベルクのマイスター〉第1幕への前奏曲
ビゼー／歌劇〈カルメン〉から“アラゴネーズ”“間奏曲”“闘牛士”
マスカーニ／歌劇〈カヴァレリア・ルスティカーナ〉間奏曲

ラヴェル／ボレロ

管弦楽=読売日本交響楽団

申込受付開始日

2月25日(月)
10:00～

お申し込みはインターネット 読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時～18時／年中無休)

※車いす席と聴覚サポート席以外はインターネット受付のみ、お電話ではお申し込みできません。

◆公演に関するお問い合わせ: 読売日本交響楽団 03-5283-5215 (10時～17時／平日)

車いす用特設席 1階客席前方(30席程度)と中央列(20席程度)をご用意いたします。

聴覚サポート席 体感音響システム※①(20席程度)と磁気ループ※②手話サービス対応席をご用意いたします。

※①振動装置が組み込まれたポーチとザブトンクッションで構成されており、これらのシステムを使用すると、振動が身体に伝わり、聴覚に障がいのある方も全身で音楽を楽しむことができます。※②磁気ループ:難聴の聴覚障害の方や磁気音声を受信できる補聴器を利用させている方が、音声をクリアに聽きとるための補聴器誘導システムです。

車いす席と聴覚サポート席をご希望の方は、読響チケットセンター0570-00-4390までお電話にてお申込みください。

当日は会場ロビーに
「募金箱」を
設置いたします。

ご協力頂いた資金は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会を通じ、障がい者スポーツの普及・振興等のために有効に使用させていただきます。

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 共催: 文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)

後援: 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、公益財団法人日本財團パラリンピックサポートセンター、東京都、文京区

協力: 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

特別協力: 日本郵政株式会社、東日本電信電話株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ

「元気、ニッポン!」はスポーツなどを通じて
日本を元気にする読売新聞社のプロジェクトです。



読響 東京2020パラリンピック応援コンサート

様々な障がいを乗り越えて、アスリートたちが限界に挑むパラリンピック。

誰もが個性や能力を發揮し、活躍できる晴れのステージを

もっと身近に感じて頂きたい、みんなで応援したい。

そんな思いから読売日本交響楽団は、東京2020パラリンピックの

盛り上げに向けた、オーケストラ・コンサートを開催します。

第1部 みんなで応援トークコーナー

アスリートたちの熱いトークで、パラスポーツの魅力に迫ります。

別所 キミエ(車いす卓球選手)



40代で難病に罹患、生死をさまよい数度の大手術で一命を取り留めたが車椅子生活となる。再起し卓球に取り組んだのが45歳。練習と負けん気の強さから兵庫県代表、国内代表と極め、2004年には、日本代表でアテネパラリンピック出場。北京2008大会、ロンドン2012大会、リオデジャネイロ2016大会で健闘する。現在、日本郵政グループ日本郵政(株)とスポンサー契約を締結。

木村 敬一(パラ水泳選手)



2歳時に病気のため視力を失う。小学4年生から水泳を始め、単身上京した筑波大付属盲学校(現・筑波大学付属視覚特別支援学校)で水泳部に所属し、頭角を現す。2012年ロンドンパラリンピックで銀・銅ひとつずつのメダルを取り、リオデジャネイロ2016大会では日本人最多の銀二つ、銅二つのメダルを獲得した。現在はアメリカに練習拠点を移し、東京2020大会に向けてトレーニングに励んでいる。東京ガス(株)所属。

第2部 応援コンサート

「カルメン」「ボレロ」といったクラシック音楽の名曲の数々を、重厚な管弦楽の音色で、迫力の競技映像と共に披露します。

ジョン・ウィリアムズ／オリンピック・ファンファーレ

1984年ロサンゼルスオリンピックのテーマ曲で華々しく開幕!

ワーグナー／
楽劇〈ニュルンベルクのマイスターインガー〉第1幕への前奏曲

タンホイザーやローエングリーンなど数々のオペラ音楽を手がけたドイツの作曲家ワーグナーによる傑作。祝祭的で壯麗な響きから、クラシック音楽の世界へ誘います。

ビゼー／歌劇〈カルメン〉から“アラゴネーズ”“間奏曲”“闘牛士”

スペインが舞台となるビゼーの名作オペラ! 情熱的な“アラゴネーズ”、フルートのソロが印象的な“間奏曲”、そして闘志みなぎる名曲“闘牛士”を演奏。

マスカーニ／歌劇〈カヴァレリア・ルスティカーナ〉間奏曲

CMや映画などで、誰もが一度は耳にしたことのあるあの有名な旋律。

ため息が出るほど美しいサウンドをお楽しみください。

ラヴェル／ボレロ

絶大な人気を誇る不朽の名作、ラヴェルの〈ボレロ〉で締めくくります。リズムとメロディの反復が築くドラマティックなサウンドは、会場を熱狂の渦に包み込むことでしょう。



現田 茂夫(指揮)

東京音楽大学作曲指揮専攻で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。2009年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。国内外の主要オーケストラとも数多く共演。世界的なチエリスト故ロストロボーヴィチと皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高評を得る。オペラ指揮者としても、02年から錦織健プロデュースオペラの音楽監督も務め、14年には市川右近(現三代目市川右團次)新演出“夕鶴”的全国公演も行い、16年に再演する。NHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティにとんだ活動を行なっている。



読売日本交響楽団(管弦楽)

1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共に活動している。現在、東京のサントリーホールや東京芸術劇場などで充実した内容で演奏会を多数開催。また、小中学校や病院での演奏などの社会貢献活動を通じ、音楽文化のすそ野拡大に取り組んでいる。《定期演奏会》などの様子は日本テレビ「読響シンフォニックライブ」で放送されているほか、インターネットの「日テレオンデマンド」でも動画配信され、好評を博している。2014年のソチオリンピックから使用されている「君が代」の演奏を務めている。

スポーツも音楽も、人々のエネルギーが注がれた先に熱い感動が生まれます。

思わず声が出たり、身体が動くことを気にする必要はありません。

競技映像と極上の演奏をどうぞリラックスしてお楽しみください。



司会・進行
鈴木 健

(日本テレビ・アナウンサー)

ご注意

- ◆全席指定。事前の申し込みが必要です。
- ◆当日は、多くの方がご来場されるため、介助が必要な方はご同伴の方との来場をお願いします。
- ◆車いす席と聴覚サポート席をご希望の方は読響チケットセンターにお電話にてお申込みください。その他の席はインターネット(読響チケットWeb)受付のみ、お電話ではお申込みできません。
- ◆車いす用トイレは2箇所です(その他シビックセンター施設内に2箇所ございます)。
- ◆駐車場には限りがございます。予めご了承ください。